

第41回全日本小学生ソフトテニス選手権大会大分県予選会

- 1 主催 大分県ソフトテニス連盟
- 2 主管 大分県ソフトテニス連盟 小学部
- 3 期 日 2024年5月4日(土) 受付 8:30～ 開場 8:00～
- 4 会 場 大分スポーツ公園レゾナックテニスコート (8面)
- 5 種 別 個人戦(男子・女子ダブルス)
- 6 ルール (公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブック及び大分県ソフトテニス連盟小学部ローカルルールによる。
- 7 参加資格 (1) 小学生で、かつ、保護者の承諾が得られた者。
(2) 公認審判員制度の有資格者であること。
- 8 試合方法 原則として、リーグ・トーナメント方式とする。3位決定戦を行う。
5位～8位の順位決定戦を行う。9位～16位はルールで決定する。
- 9 参加料 1ペア 2,000円
※2024年度の会員登録の未登録者が含まれる場合は1.5倍となります。
表彰は、優勝(賞状、景品)準優勝(賞状、景品)3位、4位(賞状のみ)
- 10 申込方法 (1) 大会申し込みシステムより、申し込みすること。
不明点は 小学部会 羽田野 文彦 宛
携帯 090-9597-5947 E-mail: hadanofumihiko@gmail.com
(2) 申込期日 2024年4月24日(水)
- 11 参加条件 (1) ユニフォーム及びシューズは、「ユニフォーム等の着用基準」を遵守した製品を着用すること。
(2) ラケットは、連盟の公認のマークを添付されたものを使用すること。
(3) 選手変更は大会当日の受付時までに行うこと。
(4) 日本連盟指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- 12 小学部ローカルルール (1) 監督コーチに関する事項
ベンチ入りは、団体戦は選手8名と、監督又はコーチの1名以内。個人戦は選手と、監督又はコーチの1名以内。ベンチ入り監督又はコーチはベンチから移動することは出来ない。ただし、個人戦においては質問及び提訴することは出来ない。
(2) 水分補給に関する事項
偶数ゲーム後の審判台付近での水分補給を認める。ただし、事前に審判台下へ飲み物を置くこと。
(3) ユニフォームに関する事項
オーバーウェア及び長袖スポーツシャツ、セーター等は、着用可能とする。
公認審判員ワッペンを着用することが望ましい。
- 13 特記事項 (1) 本大会の成績を、九州小学生選手権大会兼西日本小学生選手権大会大分県予選会(個人戦)のシードとする。
(2) 技術等級取得の対象大会です。大会成績により技術等級の申請ができます。申請される選手は所定の申請用紙により本部に申請してください。
- 14 代表権 (1) 本大会の上位4ペアは2024年8月に開催されます全日本小学生選手権大会の参加資格を連盟承認後に与える。
参加資格の辞退が生じた場合は、順位上位ペアより、選出する。
(2) 本大会の上位4ペアは2024年度の Step-2(U-14)大分県代表選手選考会に参加資格を与える。
- 15 その他 (1) 日本ソフトテニス連盟に会員登録していない参加者は、傷害補償制度を利用できません。各自でスポーツ保険等に加入することをお勧めします。
(2) 大会に係る映像等の広報についての活用と、一切の権利については、県連に帰属し承諾するものとする。

ユニフォーム等の着用基準について

令和元年6月10日 改訂

ソフトテニス競技者は競技会において、マッチ中は本連盟の公認するメーカーのユニフォームおよびシューズを着用するものとする。ただし、大会主催者が認めた場合にはこの限りではない。

1. ユニフォーム

男子の場合、ゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、女子の場合、ワンピースまたはゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、スカートとする。

※Tシャツ、ジーンズはユニフォームとして着用できない。

2. シューズ

テニスコートを傷つけないテニスシューズとする。

3. その他

マッチ中に使用する物品については、本連盟が認める下記の範囲を超えて広告とみなされる企業名、商標等および所属名を表示してはならない。

(1) 製造メーカー

企業名、商標のロゴ等は20cm²以内のものを、各製品それぞれ2箇所以内の表示とする。

ただし、シューズについては箇所の制限をしない。

(2) ユニフォーム広告等

①スポンサー広告

スポンサーの企業名、商標のロゴ等の広告を表示する場合は1広告につき40cm²以内とする。

②登録団体名

団体名（ロゴ・校章含む）の表示については、シャツ（ワンピース含む）が1表示130cm²以内、パンツ・スカート等は40cm²以内とする。

※（2）については国民体育大会を除く。

※（2）の貼付等により（1）を覆い隠してはいけない。

※（2）について大会スポンサーはこの限りではない。

《ウェアに関する特例》

(1) オーバーウェア及び長袖スポーツシャツ、セーター等の着用については、大会主催者が認める場合のみ着用可能とするが、ゼッケンは最上衣服に貼付すること。

(2) アンダーウェア（長袖を含む）及びスパッツの着用については、単色の製品を原則とする。